

# 令和8年度 学校経営方針

村山市立戸沢小学校

校長 高橋文明

## 1 学校教育目標

### 太陽と大のなかよし戸沢の子

「やさしく」 多様な価値観を知り、自他を認め合える子ども

「かしこく」 自分で考え、表現できる子ども

「たくましく」 心身ともに健康ですごす子ども

## 2 目指す子どもの姿

### 【地域の魅力をよく知る子ども】

子どもが、自らから地域に目を向け、体験を通して学び、課題意識をもって探究し、多様な価値観に触れながら自他を尊重し合い、目的を共有しながら協働していくことで、自身の力を伸ばしていきます。

「地域」とは、戸沢地域、村山市、山形県と学習対象の応じて広がりをもっていくものと考えます。教科・領域の特性や子どもの発達段階に応じ、有益適切な教材情報を活用していきます。

また、小学校統合により村山市西部全体が学区になることを見据え、自分たちがくらす戸沢地域の伝統、歴史、文化、産業、地域課題を理解し、地域に対する誇りや愛情の念を育成していきます。

#### ○体験で学ぶ

- ・地域にかかわる情報を活用し、直接・間接の体験を通して、学びを深める。
- ・見る、触れる、感じることを通した、根拠のある思考をもつ。

#### ○探究する

- ・出会った事象から疑問や問いをもち、明確な課題意識をもとにして、探究のプロセスをたどりながら、興味や関心、学びのサイクルを広げる。

#### ○尊重し合う

- ・個々の違いやよさ、背景や課題理解し、認め合い、多様な価値観に触れながら、柔軟で双方向的なかかわりをもつ。

#### ○協働する

- ・目的や目標を共有し、多様な手立てや考えを交流、比較、統合することを通して、ねらいに到達する。

### 3 学校経営をささえる6つの柱

#### ○わかる授業づくり(学習指導力の向上)

- ・教師の意識改善、目的意識の明確化
- ・重点研究への積極的な取り組み
- ・授業力向上
- ・研修と実践のサイクル化

#### ○認め合える集団づくり(生徒指導力の向上)

- ・学級経営力の向上
- ・研修と実践のサイクル化
- ・いじめ防止、対応

#### ○一人一人のニーズに合った支援

- ・インクルーシブ教育の理念の日常化
- ・研修と実践のサイクル化
- ・不登校対応
- ・外部連携

#### ○笑顔の職員

- ・「働きやすさ」と「働きがい」
- ・人材育成(共に育つ)
- ・キャリアステージに応じた研修の充実
- ・「報・連・相」を軸にしたチームワーク
- ・心身の健康を支えるウェルビーイング

#### ○安心・安全を守る

- ・危機管理(気象・野生生物等)
- ・マニュアルの実行性充実化
- ・防災教育の推進
- ・食育の推進

#### ○地域力の活用

- ・コミュニティースクール
- ・人材、教材の活用

### 4 経営の重点

#### ○子どもに寄り添い、子どもの目線で

- ・児童理解に努め、子どもの課題や困り感に寄り添った指導を行う。

#### ○解決課題の目的・目標化

- ・課題解決のために、明確な目的・目標を設定し、丁寧かつ的確な対応に努める。
- ・共有できる上位目標を掲げる。

#### ○協働と連携「チーム戸沢小」

- ・小規模校、限られた職員で行う学校運営。個々の強みを認識し合い、「報告・連絡・相談」を軸にした双方向型チームワークを構築する。
- ・教務主任、ブロック学年主任、各主任との対話を窓口。
- ・「批判」「指摘」から「目的ある対話」「建設的提案」へ。

### 5 めざす学校の姿

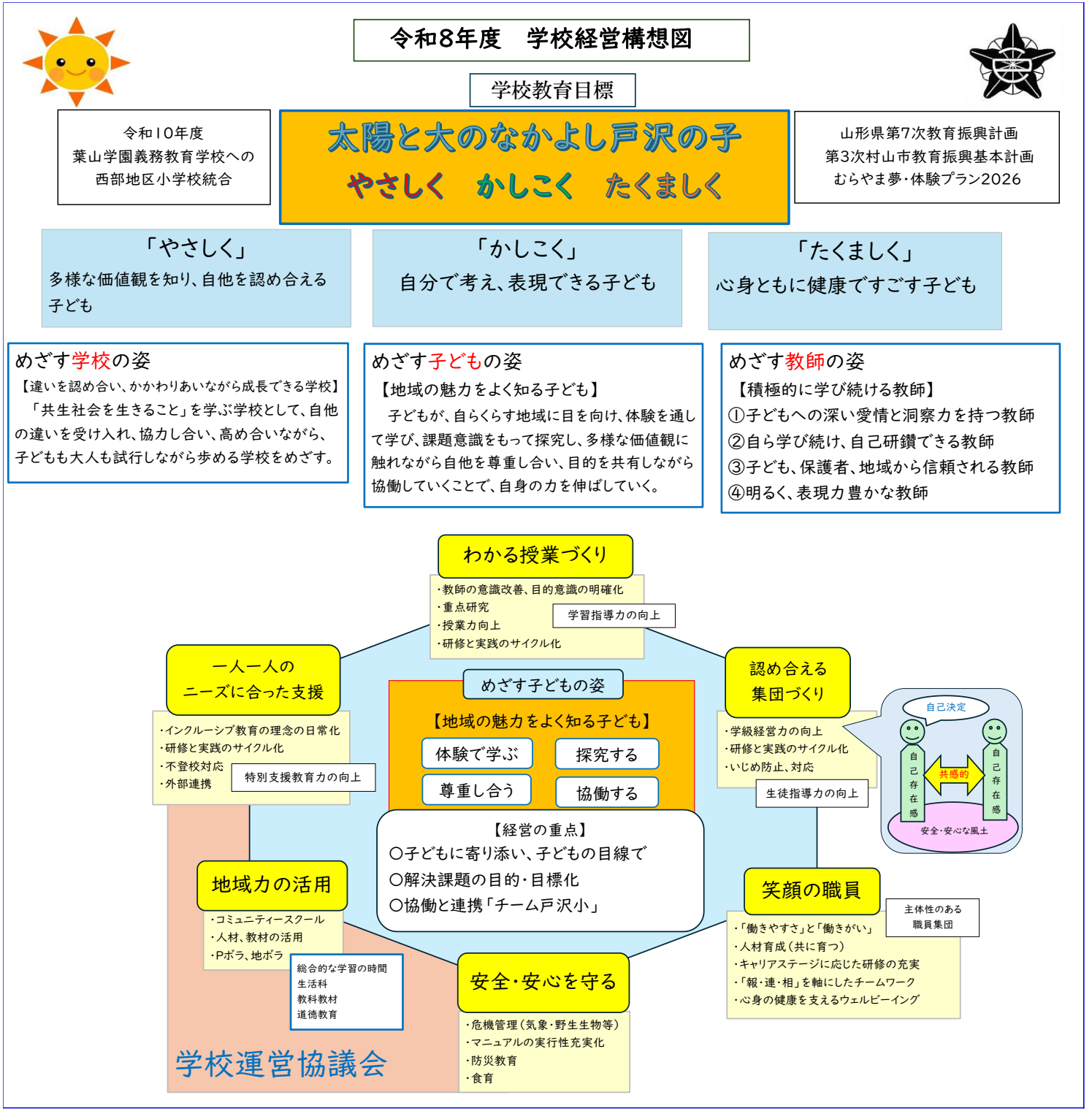
#### 【違いを認め合い、かかわりあいながら成長できる学校】

「共生社会を生きること」を学ぶ学校として、自他の違いを受け入れ、協力し合い、高め合いながら、子どもも大人も試行しながら歩める学校をめざします。

## 6 めざす教師の姿

### 【積極的に学び続ける教師】

- ①子どもへの深い愛情と洞察力を持つ教師
- ②自ら学び続け、自己研鑽できる教師
- ③子ども、保護者、地域から信頼される教師
- ④明るく、表現力豊かな教師



# 令和8年度 学校経営にあたって

## 1 学校、家庭での共通理解のもと

- (1) 子どもの学びの保証
  - ・学習することによるたくさんの成長のために
  - ・多様な距離感の活用
- (2) PTA新組織での連携・協力
  - ・PTAボランティアでの取り組み
  - ・全保護者対象、希望保護者対象への協力

## 2 第7次山形県教育振興計画、第3次村山市教育振興基本計画に基づいて

- (1) 「ウェルビーイング」への取り組み
  - ・「得意なこと」の伸ばすこと
  - ・「なりたい自分」に向かうこと
    - ポジティブな内発的エネルギー（やる気・意欲）を育てる
- (2) 働き方改革の促進
  - ・教職員も社会人としての生活や生き方を確立していく時代
  - ・目的を再確認し、教育活動を見直すサイクルを展開

## 3 地域との連携

- (1) 学校運営協議会の設置
- (2) 統合、閉校に向けて